

# 「子宝日本一の町へ 学習支援センターを！」

## 伊仙町、ふるさと納税アピール

【徳之島】伊仙町は「ふるさと納税」税制

今年2日、国の地方創  
生応援税制（企業版ふ  
るさと納税）対象「子  
宝日本一の町へ学習支  
援センターを」事業の  
認定を受け、ふるさと  
納税企業版のPRに着  
手。「子宝のまち」に  
存在しなかった図書館  
機能と学習支援機能を  
複合化させた施設の整  
備、島で生まれ育つ子  
どもたちの将来選択の  
幅を広げる場づくりの  
充実化を目指す。

国は地域再生法を今  
年4月に改正し、自治  
体が提案する事業内容  
に賛同して寄付を行っ  
た企業への税制優遇措  
置をより強化。「企業

に。

町内には町中央公民  
館図書室などを除き、  
図書館や中高生が学習  
できる公的スペースが  
存在しない。そのため  
同事業で既存施設など  
を再整備し、インター  
ネット回線で日本各地  
の大学や企業人とつな  
ぎ、「子どもたちの進  
路選択やキャリア教育

町企画課・地方創生  
推進室によると、同事  
業の始まりは「自然豊  
かで郷土愛も深い子宝  
日本一の伊仙町で育っ  
た子どもたちに、更な  
る学習支援を行うこと  
で故郷を想い、希望と  
スキルをもった人材と  
なつて島に帰ってもら  
おう。幼少期からの支  
援を」の議論が端緒

も島にいなからして  
出来る環境」の整備を  
目指す。

企業版ふるさと納税  
は、郷友会など出身者  
の企業経営者たちに広  
く呼びかける方針。趣  
旨に賛同する経営者や  
その紹介など、問い合  
わせは同町企画課地方  
創生推進室（9月以降  
は「未来創生課」）、  
☎0997-86-31  
11へ。

# 南濃日新聞

2016年(平成28年)

8月26日(金)

旧暦7月24日・赤口

発行所

日本新聞協会加盟

南濃日新聞社

〒894-8601

岐阜県南濃町名瀬長浜町10番3号

電話 0997局

総合・総務局

53-2121 ファクス 52-2354

編集局

53-2127 ファクス 53-6636

Eメール nanka11n@cc.synapse.ne.jp

営業局

53-2126 ファクス 53-6431

Eメール nanka@tronze.ocn.ne.jp

販売部

53-2125 ファクス 53-1475

http://www.nankainn.com/

©南海日日新聞社 2016年

## 奄美市、伊仙町を認定

### 企業版ふるさと納税で内閣府

奄美市と伊仙町は8月、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について内閣府から認定を受けた。1回当たり10万円以上の寄付が対象。2市町は人口減少対策などのため地方創生に関する事業で、民間企業に対して寄付を募る。奄美市プロジェクト戦略推進課は東京や大阪の出先事務所と連携し、出身者をはじめ、各企業に協力を呼び掛けていきたいと意気込んでいる。

#### 地方創生事業で寄付募る

企業版ふるさと納税は今年4月に創設。企業が本社所在地以外の自治体に寄付すると、寄付額の約6割が法人住民税などから差し引かれる。企業が多い東京都などに偏る税収を地方に移すのが狙い。寄付の使い道は、自治体が作成した人口減少対策の5カ年計画「地方版総合戦略」に盛り込んだ対策に限ら

れる。奄美市は①世界遺産登録を見据えた観光投入体制構築②働きたい・暮らしたい・子育てしたい離島創生のプロジェクトで認定を受けた。③は奄美大島DMO事業、奄美空港ターミナル拡張事業④はフリーランス支援事業、光プロトタイプ整備事業1で構成。4事業に企業版ふ

るさと納税を活用する考え。寄付の払い込みは事業費が確定した後実施。寄付額は事業費の範囲内までが条件となっている。伊仙町は「子育て伊仙町の伊仙町へ学習支援センターを」の事業名で申請し、認定を受けた。合計特殊出生率日本一の町として、未来を担う子どもたちの学

習支援の充実などを目的に、学習支援センター図書館機能を持つ施設を整備。移住を促し、若者層の流出を防止する。

町の計画によると、企業からの寄付見込み額は4年間で1億8800万円。町地方創生推進室の担当者は「寄

付金は主に本の購入などソフト面で活用する計画で、島外の大手企業に子育ての町としてアプローチしていききたい。寄付に直接つながらなくても興味を持つて今後につなげたい。本気で企業を経営する出身者から既に寄付したいとの申し出も聞かれている」と話した。



オール徳之島、で自慢の「ふるさと納税返礼品」をPRした徳之島3町の担当課職員たち  
—25日、天城町

# 「オール徳之島」で ふるさと納税PR

## 3町、トライアスロン会場

【徳之島】徳之島3町のふるさと納税担当課は25日、第30回トライアスロンIN徳之島大会を締めくくる「表彰式&どんちゃんパーティ」会場の天城町総合運動公園で、同納税キャンペーンを展開。全国から来島したアスリートや関係者に「オール徳之島」で長寿・子宝、世界自然遺産登録を目指す島の返礼品の数々を紹介した。

合同PRブースには徳之島町企画課、天城町総務課、伊仙町未来創生課の各担当者らが、島内各メーカーの黒糖焼酎や旬のパッションフルーツ、ジャム、果実飲料など自慢の返礼品の数々を展示した。ブースを訪れたアスリートからは「トライアスロン大会をきっかけに、徳之島3町に毎年寄付(ふるさと納税)。3町の特産品も楽しみにしている。」との声も聞かれた。

徳之島3町へのふるさと納税は今年度に入ってから急増している。ちなみに4～5月(2カ月間)の寄付件数・寄付実績は、▽徳之島町1891件(前年同期16件)、3884万2千円(同22万)▽伊仙町618件(同3件)、790万(同90万)▽天城町135件(同6件)、475万7千円(7万円)に伸びている。

担当職員たちは「徳之島では各町へのふるさと納税の増加に伴い、島内の農家さんや各返礼品業者を中心に、経済効果がいよいよ生まれつつある。今後も、ふるさと納税制度を活用した地域の活性化に力を入れた」と話した。

ふるさと納税の問い合わせは各町役場の担当課。

# 一流シェフ招き 食材探しツアー

伊仙町



コーヒ一農園を視察する石井シェフら（中央）＝29日、伊仙町伊仙

## 「ふるさとレストラン」を計画

【徳之島総局】東京で活躍するフランス料理のシェフ2人が28、29の両日、伊仙町内の農産物生産現場を視察した。29日は視察後に島内の農産物や海産物を使用して料理を試作。期間限定で提供予定の特別料理に使用する食材のヒントを探した。町側は特別料理の食事券をふるさと納税の返礼品として用意する「ふるさとレストラン」を計画しており、一流シェフとのパイプを通じて町内の農産物の販路拡大やブランド力向上を目指す。

井剛さん（44）らシェフ2人が来島。2日間、シヨウガヤ、パイア、コーヒーなどの生産現場を視察し、生産者から栽培方針や農産物の特徴、出荷時期などの説明を受けた。

29日は同町ほいらい館で、ドラゴンフルーツやアバなど町内で生産された農産物と奄美近海産物の海産物などを使用して調理を実施。パパイアと夜光貝のサラダ「豚肉のロースト」など7品を完成させ、試食で食材の可能性を模索した。

石井シェフは「全国

昨年夏からふるさとレストラン企画を先行実施している鹿児島県長島町から提案を受け、同町でも企画した。レストランでの特別料理提供に向けて、「cuisine française MON OUTH（モノリス）（東京都渋谷区）のオーナーシェフ・石

伊仙町内の農産物と奄美近海の海産物などで料理を試作する石井シェフ＝29日、伊仙町ほいらい館



2017年(平成29年)8月30日 水曜日

各地の産地を見回っているが、徳之島は個性が十分にある農産物が多く、素晴らしい食材の宝庫。他店との差別化を図るためにも、徳之島の食材を活用した特別料理の提供を前向きに検討したい」と話した。

町側では来年2月ごろに再度シェフツアーを実施して石井シェフらを迎え、ふるさとレストランの実現に努める。

2017年(平成29年)9月20日 水曜日

# 島食材活用ふるさとレストラン

## 伊仙町特別コース、納税返礼品追加

【徳之島】伊仙町は地場産の農林水産品などの販路拡大として

ディング向上を目指して先月末、一流料理人を招く「シェフツアー」を実施。参加した東京都内のレストランのオーナーシェフが直接体感した島食材を使った同町特別コースを完成。町側は同「ふるさとレストラン」ディナー食事券をふるさと納税返礼品に追加した。

町内産食材を使った同町特別コースの提供を始めるは、渋谷区渋谷の閑静な路地裏にたなむらレストラン「モリス(Morish)」。「オクラシック」をコンセプトに伝統的な手法を大切にしながら新たな手法を取り入れた

本格的フレンチシェフの石井剛氏(44)。2日間、生産現場を訪ね、現地ではフレンチ料理の試作・試食も開いていた。

同町ふるさと納税額5万円に対し、同ディナー食事券(2人)を返礼する。島食材を盛り込んだコース・メニューの一例は、黒糖焼酎のカクテル、豚肉とゴボウのリエットのグジュール、ブタンワールのサターアンダキ、伊仙町の生姜風味コンソメジュレ寄せ、オマール海老のナトシユ、直送魚料理、グアバやドラゴンフルーツも使ったデザートも多彩。内容は食材の入荷状況や時期によって変わるという。

伊仙町ふるさと納税手続きを行い、町側から食事券が届くと、利用者本人で「モリス」(渋谷区渋谷2-1-1 平塚ビル1階、☎03-6427-3580)に同「納税者」を伝え予約するシステム。

問い合わせは伊仙町役場・未来創生課(☎0997-86-3111)。同町役場公式サイトや、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」からも確認・手続きができる。



島食材を使った「ふるさとレストラン」伊仙町特別コースの一例(総合サイト「ふるさとチョイス」より)